



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市横越総合体育館  
 試合区分：成年女子 2回戦  
 開催期日：2009年10月3日(土)  
 開始時間：13:30

GAME No. 1003C3

主審：坂上 佳弘  
 副審：長部 賢

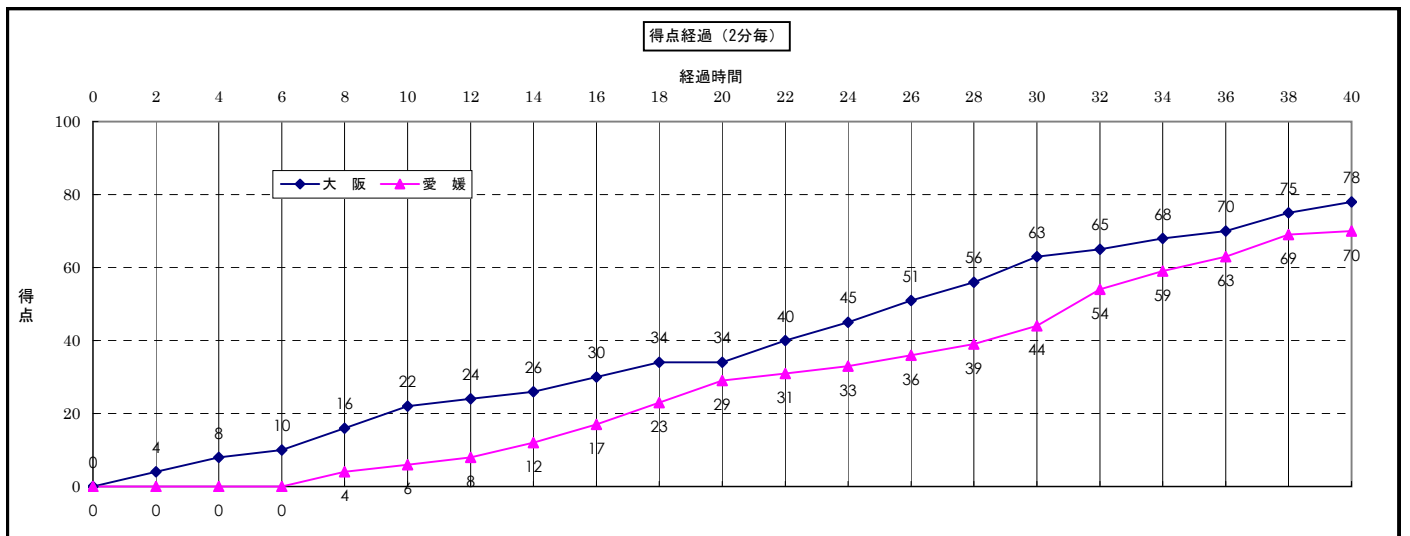
Team A	○	22 -1st- 6 12 -2nd- 23 29 -3rd- 15 15 -4th- 26	●	Team B
大阪	78		70	愛媛

TEAM A		大阪					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		山本 由佳	0	0	0	0	1
5		宗近 尚子	-	-	-	-	-
6	*	川西 友子	25	2	8	3	0
7	*	根東 里紗	7	1	1	2	2
8		公文 真衣	-	-	-	-	-
9	*	落合 明子	6	0	3	0	3
10	*	三宅 瞳	21	0	7	7	2
11	*	安川 明德	9	0	3	3	2
12		原田 恵理	10	0	4	2	2
13		笠松 梓	-	-	-	-	-
14		笠松 梢	0	0	0	0	0
15							
Coach		田村 真理子					0
TOTAL			78	3	26	17	12

TEAM B		愛媛					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	徳丸 奈緒美	5	0	2	1	1
5		近藤 啓子	2	0	1	0	2
6		門屋 歩美	0	0	0	0	0
7	*	野中 美里	3	1	0	0	2
8	*	酒井 景子	33	2	12	3	3
9		井上 亜夏里	10	2	0	4	3
10		近藤 文香	2	0	1	0	2
11		樋口 実紀子	0	0	0	0	1
12	*	有田 彩	6	1	1	1	2
13		渡部 はるか	0	0	0	0	0
14	*	山口 珠貴	9	1	3	0	2
15							
Coach		齋藤 昭二					0
TOTAL			70	7	20	9	18

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	27:35	1:2		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	3:54	16:55	22:46	38:37		



ゲームレポート

\* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、大阪、愛媛ともにハーフコートマンツーマンでスタート。大阪は、#10三宅のミドルシュートで先制。その後もバスアンドランやナンバープレイで、確実に加点。一方、愛媛は、大阪のディフェンスに苦しめられ、インサイドへのパスを阻止されミスが続く。開始4分、10対0となったところで愛媛のタイムアウト。流れを変えようと、果敢に3Pやドライブインを試みるが、得点に結びつかない。1Q残り3分でようやく愛媛#8酒井のミドルシュートで初得点。23対6でこのクォーターを終える。

2Q、出だしは、大阪#9落合、#12原田のカットインで加点するが、中盤からシュートが決まらなくなる。愛媛は、#9井上の3Pやドライブイン、#8酒井のゴール下のプレイ、さらにフリースローを着実に決め、追い上げを見せ、34対29で2Qが終わる。このクォーターの得点は12対21と愛媛が大阪を上回る。

3Q、愛媛は#8酒井のミドルシュートで34対31の3点差とするが、大阪は#6川西、#7根東の3Pが決まる。その後、愛媛は苦しい展開で4分間ノーゴール。大阪は相手ミスからのファーストブレイクでの得点や、要所でフリースローを決め、愛媛を引き離す。63対44で3Qを終える。

4Q、愛媛はオールコートで厳しくディフェンスをし、#8酒井のゴール下、3P連続2本と得点を重ね、63対52と追い上げを見せる。大阪はタイムアウトをとり、#6川西、#12原田で得点するも、愛媛#7野中、#12有田の3Pが立て続けに決まり、70対69の1点差となる。しかし、その後、大阪は、#6川西がポストプレイや3Pで得点をし、さらにガッツあふれるリバウンドで流れを取り戻す。そして、冷静にパスを回してタイムアップ。78対70で大阪の勝利。

記載責任者 金谷 諭 (所属) 新潟県バスケットボール協会